



### ◆ 開発教育セミナー ◆

1989年に始まり、関西セミナーハウス活動センターの主要プログラムとして開発教育研究会を中心に行っています。安心して発信できる雰囲気を作り、対話を促進し、1泊2日の中で、人権・平和・環境・開発という地球的課題に取り組み、教材やアクションプラン作りをめざしています。しなやかに元気のあふれる学びの場を、みなさんの「参加」で作っていきましょう。



### ◆ すすめかた ◆

参加型学習の基本になる「話し合い」を軸にしたワークショップ形式で行います。

### ◆ タイムテーブル ◆ (第2・3・4・6回)

【1日目】	【2日目】
15:30 - 受付	8:00 - 朝食
16:00 - セッション①	9:00 - セッション③
18:00 - 夕食	12:00 - 解散
19:00 - セッション②	*2日目の昼食が必要な方は申し込み時に、ご予約下さい。(追加料金:1,150円)
21:00 - 交流会	

◎第5回は1日目午後フィールドワークを予定しています。

### ◆ 会場のご案内 ◆ (第2～6回)

#### 関西セミナーハウス

京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 (曼殊院北隣300m)  
電話:075-711-2115 <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
地下鉄「北山」駅 2番出口からタクシーで約10分  
叡山電車「修学院」駅、または、市バス 5、31、北8「修学院道」、65「修学院駅前」より徒歩20分  
駐車場あり(無料) ※第1回は別会場



### ◆ 開発教育セミナー要項 ◆

**対象:** 開発教育に関心のある方。  
**定員:** 第1回40名、第2～4回・6回30名、第5回20名  
**参加費:** 第1回1,000円、第2～6回全日程 10,500円 (夕・朝食、宿泊費、プログラム費含む、市宿泊税別、第5回交通費別)  
**申込み:** 事務局へ開催日6日前までにお申し込み下さい。  
 \*各回要項もご確認ください。ウェブでもご覧いただけます。  
 \*プログラムの構成上、できるだけ全日程でご参加下さい。  
 \*部分参加は事務局にご相談ください。  
 \*定員に達した場合、締め切ることがあります。  
 \*前日以降の取消・変更は、キャンセル料が発生することがあります。

### ◎ 開発教育とは ◎

私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。そのため、開発教育は次のようなことをめざしています。

- ・世界の文化の多様性を尊重する
- ・貧困や南北格差の現状と原因を理解する
- ・開発問題と地球的諸課題との関連を理解する
- ・世界と私たち自身とのつながりに気づく
- ・社会参加できる能力と態度を養う

(特活) 開発教育協会 (<http://www.dear.or.jp>) の定義より

#### <事務局>

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 電話:075-711-2117 (直) FAX:075-701-5256  
 Eメール:office@academy-kansai.org  
<http://www.academy-kansai.org>

### ..... 2019年度開発教育セミナー申込書 .....

フリガナ	名前	所属
参加を希望する回に、○をつけてください。		
第1回	6/23 ( )	第2回 7/20-21 ( )
第3回	9/7-8 ( )	第4回 10/26-27 ( )
第5回	11/30-12/1 ( )	第6回 12/14-15 ( )
※第1回は、受付開始までは仮申込みになります。		
住所 (〒 )		
電話 ( )	ファックス ( )	
電子メール:	@	
通信欄		

～地球市民をめざして～

2019年度

# 開発教育セミナー



第1回 6月23日(日) <共催 京都市国際交流協会>  
**開発教育入門セミナー** (会場:京都市国際交流会館)  
 ～Think Globally, Act Locally～「足もと」と「世界」をつなぐ～  
 ワークショップを体験しよう!～難民・フェアトレード



第2回 7月20日(土)～21日(日)  
**パレスチナ問題はなぜ解決しないのか?**  
 ～その始まりとこれからを考える～  
 講師 役重 善洋さん



第3回 9月7日(土)～8日(日)  
**多様性が生きる社会**  
 ～人権としての言語から考える～  
 講師 木村 護郎クリストフさん



第4回 10月26日(土)～27日(日)  
**忘却を乗り越える～足尾鉍毒問題とフクシマ**  
 講師 菅井 益郎さん



第5回 11月30日(土)～12月1日(日) **フィールドワーク**  
**在日コリアンの歴史から学び、未来を考える**  
 講師 水野 直樹さん



第6回 12月14日(土)～15日(日)  
**“その日暮らし”の経済から考える私たちの社会**  
 ～香港の地下経済と日本の未来～  
 講師 小川 さやかさん



主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー-関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会  
 (第1回は、共催) <http://www.academy-kansai.org>

後援:京都市教育委員会、京都府教育委員会、認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)







## 2019年度 開発教育セミナー年間案内

### ◇ ごあいさつ ◇

深刻化しつつある労働者不足への対策のため、今年4月、外国人材の受け入れが拡大されました。政府は、「移民とは異なる」として外国人労働者を社会の一員として受け入れず、単なる労働者として移入しようとしています。

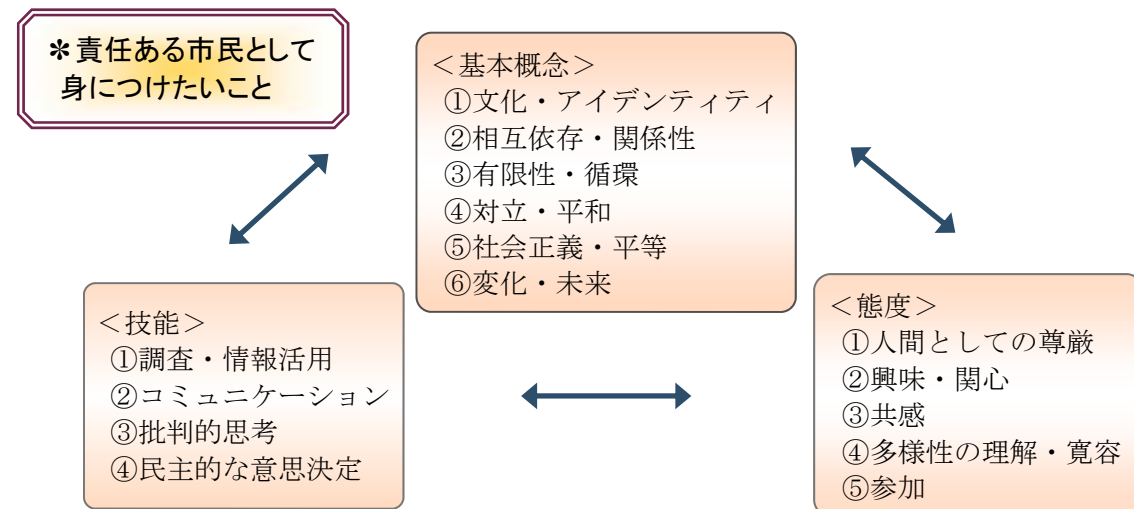
外国人労働者の人権はこれまでも十分に保障されてきたとは言えません。様々な国や地域で移民排斥を叫ぶ声があがり、ハイトクライムも起きている今、私たちは改めて移民や外国人労働者の人権について考える必要があるのではないのでしょうか。

多文化共生とは、様々な関係における不公正を、公正で共生が可能な関係へと創りかえることです。つまり、単に異文化に対する偏見をなくすだけでなく、社会的な不平等や差別、貧困、抑圧などの「構造的暴力」に目を向け、自分とのつながりについて考えることです。これまで無関心になっていた自分に気づき、行動することが、互いに人権を保障しあえる多文化共生社会を実現させることになるでしょう。

本研究会では、今年度も様々な講師をお招きし、「見えない存在」にされてしまっている人々に気づき、そこから自分自身の態度や行動・考え方を見つめなおす学びの場にしていきたいと考えています。

人と人とのつながりを多面的に見つめ、よりよい社会を創るために私たちに何ができるのかを協働的に考えましょう。皆さまと出会えることを楽しみにしています。

関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会



☆当セミナーから生まれた開発教育教材集『新しい開発教育のすすめ方』、『同Ⅱ 難民』(古今書院)、『身近なことから世界と私を考える授業』、『同Ⅱ』(明石書店)を、関西セミナーハウスで開催のセミナー時には、割引価格で販売します。

### 第1回 6月23日(日) <共催>(公財)京都市国際交流協会 開発教育入門セミナーThink Globally, Act Locally～「足もと」と「世界」をつなぐ～

10:00～16:00 会場:京都市国際交流会館  
ワークショップを体験しよう!～難民・フェアトレード 講師:関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会  
・SDGs(持続可能な開発目標)を参加型学習で  
・ピン君に何が起きたのか?  
あなたの隣にいる難民の方はどんな日常を過ごされているのでしょうか?ピン君の気持ちに寄り添うことで、共生社会のあり方について考えてみましょう。  
・あなたに贈りたくなるチョコレート  
いつも身近にあるチョコレートを通してSDGs(持続可能な開発目標)について学び、その実現に向けて、私たちにできることを一緒に考えてみましょう

### 第2回 7月20日(土)～21日(日) パレスチナ問題はなぜ解決しないのか?～その始まりとこれからを考える～

講師:役重 善洋さん(パレスチナの平和を考える会)  
昨年、米国大使館のエルサレム移転が行われ、今年はゴラン高原のイスラエル併合を米国が認めました。第二次大戦後の国際秩序が揺らぐ中、パレスチナ/イスラエル問題はどうか進んでいくのでしょうか?パレスチナ難民は、70年以上故郷に帰ることができず、人間らしい生活を奪われています。問題の歴史的背景を知り、国際社会の責任を理解して、日本との関わりの中で平和に向けて何が出来るかを考えましょう。

### 第3回 9月7日(土)～8日(日) 多様性が生きる社会～人権としての言語から考える～

講師:木村 護郎クリストフさん(上智大学外国語学部ドイツ語学科)  
生物の多様性の危機と軌を一にするかのように言語の多様性が急速に失われていますが、何が問題なのでしょう?。「言語権」の問題は、実は開発教育にも密接に関わっています。「英語を話す＝グローバル人材」に疑問を投げかけてきた講師と共に、戦争責任や難民の受け入れなど、多くの課題と向き合ってきたドイツを例として取り上げ、多文化共生とは何かを考えます。

### 第4回 10月26日(土)～27日(日) 忘却を乗り越える～足尾銅毒問題とフクシマ

講師:菅井 益郎さん(渡良瀬川研究会代表)  
日本の公害の原点であり、教科書の中でも解決済みの問題として語られる足尾銅山毒事件。その足尾銅山から、現在も毒水が流れ続けています。フクシマをなかったことにして原発再稼働を進め、東京五輪を「復興五輪」と呼ぶ私たちの社会は、なぜ事実を教訓として生かせないのでしょうか。足尾銅毒問題の過去と現在を学び、私たちの暮らしと社会のありようを見つめなおしましょう。

### 第5回 11月30日(土)～12月1日(日) 在日コリアンの歴史から学び、未来を考える **フィールドワークあり<八瀬・岩倉エリア>**

講師:水野 直樹さん(元京都大学教授、同志社大学非常勤講師)  
今年は、朝鮮が日本の植民地支配に抵抗した3.1独立運動から100周年にあたります。今でも日本と南北朝鮮の間には未解決の問題があり、それらが浮上するたびに、在日コリアンへと矛先が向けられることもあります。足もとのフィールドワークから、渡日した朝鮮人の移住労働者という側面に注目して、彼らの多様な営みや思いを学びましょう。そして、誰もが自分らしく生きられる社会に向けての礎を一緒に築いていきましょう。

### 第6回 12月14日(土)～15日(日) “その日暮らし”の経済から考える私たちの社会 ～香港の地下経済と日本の未来～

講師:小川 さやかさん(立命館大学大学院先端総合学術研究科)  
いま日本では将来に対する不安が叫ばれ、閉塞感が漂っているといわれます。しかし、世界には10年先はおろか3日先の未来もわからないと語る人びとがたくさんいます。そうした「その日暮らし」の生き方は、必ずしも不安定で悲惨なものでもお気楽で不合理なものでもありません。最先端のシェアリング経済にもつながる中国でのタンザニア人による取引システムなどから、これからの社会を生きぬくヒントを考えてみましょう。